

## 第2節 結婚に関する意識

- 晩婚化や未婚率の上昇といった状況は、少子化に影響を与えている。
- 若者の「結婚離れ」の背景には、結婚の社会規範の薄まりや、恋愛結婚割合の増加が一因。
- こうした状況に加え、多様な選択肢の中から、自力で「理想の相手」を見つけることの難しさも一因。
- 結婚相手に求める条件等を踏まえると、若年層の収入の増加、女性の就業促進、男性の家事・育児の参加促進が重要。

### 晩婚化と晩産化の進展

- 晩婚化の進行に伴って、晩産化も進行。  
(我が国では出生数の9割強が嫡出子)
- 未婚率も上昇。より多くの女性が高い年齢まで未婚にとどまるようになっている。

### 結婚するかしないかの自由度は高まっている

- 結婚するのが当たり前、といったような社会の圧力は弱まり、結婚は人生の選択肢の一つとなっている。
- その一方で、若者の結婚願望は高い割合で推移（9割弱）。

平均初婚年齢・母親平均出生時年齢推移

